

図書館の窓から

7
2010.7
No.129



しろまんえ
(白万重 稲田亜紀子/画)

【特集記事】

◆私の一冊

トーア株式会社 専務取締役 桜井カツエ さん …………… 2 p

◆図書館まつり2010～今年は国民読書年～

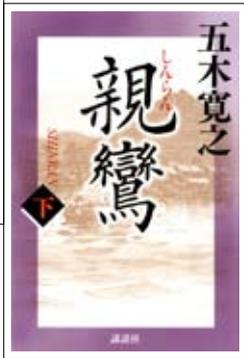
大いに盛り上がった図書館まつりの1日を追う …………… 5 p

◆2010国民読書年 夏をかけぬけろ！プロジェクト

夏におすすめの本を紹介 …………… 6～7 p

2010
国民読書年

2010年は国民読書年です



『親鸞 上・下』
五木 寛之／著
講談社

私の一冊

トーア株式会社 専務取締役

桜井 カツエ さん

25年後、私達が住んでいる長岡市から100年ぶりに皆既日食が見られます。2035年9月2日午前10時6分と、はっきりとわかるわけです。25年のスパンは現実的でお、夢も描く事が出来ます。日本は、長岡は、会社は、家族は、自分はいったいどうなっているのか。どんな風にしたいのか。夢を語りワクワクし、現実を見すえオロオロし、の毎日です。先が見えない事の不安は皆一緒です。

人の世を生きてゆく事は強気と弱気の繰り返しです。もうダメ、こんなに頑張っているのに気持ちが届かない、心臓を鷲掴みにして分かって欲しいと思っても分かってもらえないもどかしさ、そんな時は落ち込んで

いっそ死んでしまいたいと弱気になってしまいます。結果が出た時はヨシヨシと少し強気になります。

五木寛之の「親鸞」が2008年9月1日から1年間、新潟日報に掲載されました。朝、新聞が来るのがとても楽しみで夜明けが待ち遠しく、新聞受けにコトリと音がすると、すっとんで取りに行き、まずは親鸞を読みます。今年上下巻が発売されました。こんなに夢中で読んだのは久しぶりです。「南無阿弥陀仏」を「なもあみだんぶ」と発音されておられるのは、念仏弾圧の中から生まれた方便と知りました。

愛と暴力、罪と罰に苦しみながら切り開いて行く姿。物語の

中に自分を置き、自分の悩みがけし粒の様だった事に気が付きます。しかしながら、気が付いてもどうにもならない自分がいつもそこに居ます。情けないと思っても解決策は見つかりません。

親鸞様は常に自分に問い続けて生きていました。鎌倉時代に生まれ、あらゆる難行を越え、更に妻帯をされた親鸞様。現在は便利になり、苦も無く色々な欲望が叶います。現代医学の発達で、難しい病気も治癒されつつありますが、心の病の特効薬はありません。

弱気になった時、悲しい時、つらい時、身近に置いて読ませていただくと、泣くな泣くなと励ましてくれる一冊です。

●● さくらい かつえ ●●

- ・昭和19年3月3日生まれ ・長岡市（旧北魚沼郡川口町）出身
- ・現在、信用用具の総合メーカー トーア株式会社 専務取締役
- ・写真集 中越地震の記録『桜、さくら』発行 ・ポストカード「桜、さくら物語」発売
- ・中央図書館にて写真展開催
- ・NHKみんなのラジオ体操を悠久山公園にて開催。平成10年から現在も悠久山で毎朝ラジオ体操を行う。
- ・震災で傷んだ木が目立つ悠久山に、寄付を募り桜の木を植える「桜植樹まつり」を開催
- ・「2035年9月2日次の皆既日食を元気で見ましょう」主宰
- ・悠久山桜植樹まつり冊子発行



文書資料室だより 蔵王の杜のアーカイブ～安禅寺御用記～

文書資料室に寄託されている安禅寺文書は、『長岡市史』をはじめ、多くの郷土の歴史書に活用されている資料群です。なかでも、蔵王権現と安禅寺に関する戦国期から幕末期までの記録をまとめた「御用記」は、長岡の歴史を探るための重要な歴史資料で、約100冊が現存しています。

「御用記」のほとんどをまとめた阿部信成は、享和2年(1802)に南蒲原郡末宝村(中之島地域)に生まれました。安政期から天保期にかけて安禅寺・蔵王権現の別当(蔵王代官)をつとめた人物です。古い記録や書物が火事で焼けてしまったり、書類が未整理で散乱したりという現状を憂えた阿部は、焼け跡・虫食いを補いながら「粉骨細辛」を尽くしてまとめ上げたと書き記しています。

阿部は、膨大な記録を利用する際に便利なようにと、「御用記條簡」と表題が付された記事索引2冊を作成しました。カメラもコピー機もパソコンもない時代、当然のことながら全ては手作業です。毛筆でしっかりと書かれた筆跡を見ていると、先人が残した記録を大切にすることこそ、未来へ向けた仕事を正しく行うための原点であると説いた、阿部の誠実な姿勢が伝わってきます。

「御用記」は、原資料をはじめ、翻刻した長岡市史双書No.4・46・47、市史編さん事業で作成した複製、長岡郷土史研究会に委託した解説文を文書資料室で閲覧できます。阿部が後世に伝えた記録の数々を、現代の目を通して、読み直していくことが今後の課題です。

(田中 洋史)



▲「御用記條簡」

阿部信成による序文。「阿部山城信成」の署名と花押(サイン)があります。



▲初期の「御用記」

「壹」から「九」までの巻数と年代が記され、平積みで整理されていたことがわかります。

あなたの図書館Lifeを豊かにする図書館+

としょかんぷらす

今月のテーマ：パスワード

【パスワードって何?】

図書館ホームページ・携帯サイトでの様々なサービスを利用するために必要な番号です。

【登録方法は?】

お近くの図書館にて登録手続きをしてください。手続きには貸出カードと本人確認ができるもの(免許証・保険証等)が必要です。

【何ができるの?】

利用できるサービスは以下の通りです。詳しくはホームページかお近くの図書館窓口までお尋ねください。

- ▶ 資料の予約
- ▶ 貸出期間延長
- ▶ 予約資料の受取館変更
- ▶ 貸出状況確認
- ▶ 予約状況確認

山本老迂斎は、名は義方と言い、享保3年（1718）に生まれました。老迂斎は号で、晩年に家老を辞し、隠居した折りに付けた名前です。

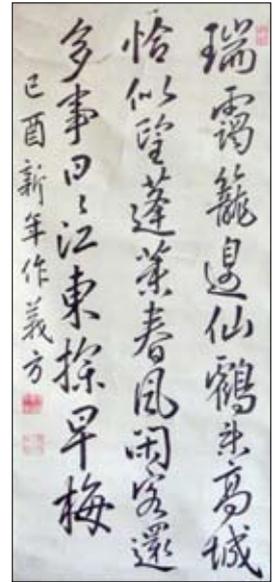
元文4年（1739）、長岡藩主4代牧野忠寿のとき21歳の若さで家老本職となり、以後9代忠精まで6代の藩主に仕えました。その間、財政改革、牧野家譜の編修・蒼柴神社の造営などに尽力した人物です。

また、老迂斎は好学心に燃え、朱子学・古学を学び、詩歌や茶・香なども嗜む、優雅を愛する人でもありました。宝暦5年（1700）には邸内に私塾「書堂」を建て、同学の士を集め経書の講習を行い、寛政4年（1792）に没しました。9代藩主忠精は、書堂の在り方を採り入れ藩校「崇徳館」を開設し、藩士の教育に努めています。

掲載の書は、すっきりとして感じのよい印象を受けます。内容は、早春の霽のかかる辺りに鶴が来、城は仙人が住むという中国の蓬莱宮に似ており、余暇で来た客も、春の忙しさを思い、還って行く。私は江東（揚子江の下流をいいますが、ここでは、信濃川の東一帯）で、早咲きの梅を探そうと思う、という意味で早春の風情心情のよく表れた詩といえます。（今井 雄介）

瑞靄籠邊仙鶴来
高城恰以望蓬莱
春風閑客還多事
日夕江東探早梅
巳酉新年作義方

瑞靄の籠る辺りに仙鶴来り
高き城恰かも蓬莱を望むに似る
春風 閑客 多事にして還れば
日夕江東に 早梅を探さん
(義方、老迂斎の本人)



郷土資料紹介

— 懐かしの風景 ② 建築物 —



『写真集 ふるさとの百年 長岡』
新潟日報事業社

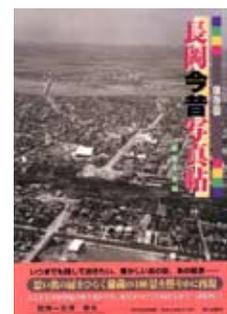
これが、5度目の引越しになります。しかも、最初にあったところと、ほど近い場所に、今回は移転します。——これは長岡市役所の話。初代の長岡市役所は、坂之上町に建っていました。大正10年には、先日52年の歴史に幕を下ろしたばかりの、

大和デパートの辺りに竣工。2代目の市役所は、当時としてはモダンな造りであり、市民の誇りであったことでしょう。新庁舎完成の暁には、この当時の街並みの写真と見比べてみてください。（関矢麻由美）

“懐かしの風景”と聞いて、みなさんは何を思い浮かべますか？私が出すのは、小学校までの通学路や近所の公園など、やはり子どもの頃の風景です。

本書では、長岡の今と昔を、同じ場所で撮影した写真で見比べることができます。昭和30年

代の駅前風景や、昭和12年頃の長生橋の鉄筋組立作業など…。貴重な写真の数々が、見慣れた風景の昔の姿を教えてください。この本を囲み、家族で語り合ってみてはいかがでしょうか。（高橋 知香）



『長岡今昔写真帖』
郷土出版社



図書館まつり2010



～今年も国民読書年～



5月22日(土)『図書館まつり2010～今年も国民読書年～』を開催しました。国民読書年を記念した楽しいイベント満載の一日は約3,500人の方に来館いただき、会場は大いに盛り上がりました。



あなたにとだけわたしのとっておき展

509人
入場

市民お薦めの図書館資料を手作りポップ付で展示。愛蔵家の多い長岡市民には大好評でした。



エコブックフェア

845人
入場

不要になった本を無償で提供する恒例行事。お気に入りの1冊を求め多くの方が来場しました。



普段入れない書庫公開

21人
入場

蔵書の約半数がある書庫。書庫に収まる懐かしい本や昔の新聞、特色資料に目を輝かせていました。



米百俵号に乗ろう!見よう!借りよう!

511人
入場

懐かしのメロディを奏でる米百俵号が登場!飾られた車体は多くの人を魅了しました。



スライムをつくろう!

122人
入場

超満員の会場!色とりどりのスライムが誕生し、子どもたちの歓声で大賑わいでした。



水ふうせんつりマジックショーとしょうかんクイズ 昭和の紙芝居

411人
入場

巨大水ふうせんも登場し、まつりモード全開!紙芝居では懐かしい昭和の風景が広がりました。



長岡が生んだ古書の巨人 反町茂雄と古書販売目録

509人
入場

長岡が誇る偉人を千代田図書館所蔵の貴重な資料で紹介。熱心に見ている姿が印象的でした。



アングル×アングル!映画会「ふるまいか」

70人
入場

当時使用した「つるはし・ランタン」を特別展示。会場には感動の涙が溢れていました。



エコバック販売 人物パネルで写真撮影 1日限定しおり

33人
入場

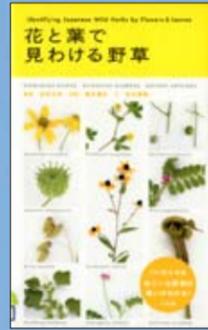
図書館友の会がエコバックを販売。人物パネルには、多くの笑顔が収まりフラッシュの嵐でした。



(小林 悟・渡辺 茂・五十嵐一樹)



『自転車ぎこぎこ』伊藤 礼／著
平凡社
著者が自転車生活を始めたのはなんと68才！日本中どこへでも折りたたみ自転車を持って、乗って旅をする。年齢を感じさせない姿に、ただただ驚かされるばかり。爽やかな7月自転車を走らせたくなる一冊。
(竹田明日香)



『花と葉で見わける野草』近田 文弘／監修 亀田 竜吉／写真
有沢 重雄／文 小学館
似ている野草を仲間として、その違いや区別の仕方を教えてください。花や葉っぱ、実の様子から7月の野に咲く野草を見比べてみませんか。
(穴沢 麻子)



『きょうも天気』まどみちお／詩
至光社
100歳をすぎても創作活動を続けているまどみちおさんの詩集。季節に彩られたまぶしい詩の数々、特に夏の詩「はやくも70歳」は心打たれます。
(矢野 直美)

『夏への扉』ロバート・A・ハインライン／著 小尾 美佐／訳
早川書房〔新訳版〕
最愛の恋人と親友に裏切られ、「コールド・スリープ(冷凍睡眠)」に送り込まれた主人公、ダニエル。30年後、西暦2000年に目覚めた彼が取った、驚くべき行動とは？
(高橋 啓美)



『debut』辻井 伸行／演奏
エイベックス
ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール優勝の辻井伸之のデビューアルバム。ラヴェルの名曲「水の戯れ」は、噴水から溢れ出る水のような清涼感を感じさせる1曲です。
(藤巻 俊行)



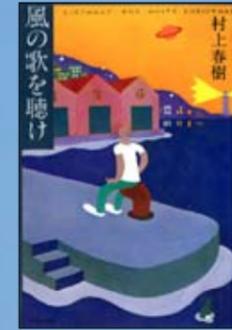
『花火の図鑑』泉谷 玄作／著
ポプラ社
長岡の夏といえばやっぱり花火ですね。その花火をより楽しく見るための基礎知識が満載です。今年の大花火大会で知識を爆発させてみてはいかがでしょうか？
(松山 久子)



『若い人に語る戦争と日本人』保阪 正康／著 筑摩書房
平和を強く願う8月。昭和の始め、なぜ日本は戦争をくり返してしまったのか。過去にあった悲惨な「事実」を知る第一歩となる一冊です。
(古田島亜衣)



『新 小さな美術館への旅』星 瑠璃子／著 二玄社
大きな美術館ではありませんが、著者自らが訪れた魅力的な美術館が数多く紹介されています。夏の思い出に美術館巡りをしてみてはいかがでしょうか？
(横山知加子)



『風の歌を聴け』村上 春樹／著 講談社
村上春樹のデビュー作です。21歳の夏の帰省中の思い出を、村上流にドライに繊細に表現しています。蒸し暑く、気だるい夏の終わりの物語です。
(長瀬 貴子)

『ブラバン！甲子園』齊藤 一郎／指揮 東京佼成ウインドオーケストラ／演奏 ユニバーサルミュージック
高校野球の応援には欠かせないブラバンドの定番曲を集めたCDです。選手も応援団も勝利に向けて心はひとつ…真夏の甲子園の熱気を感じてください。
(尾木 茜)

2010国民読書年
夏をかけぬけろ!!
プロジェクト
～7月から9月に味わいたいお薦めの資料～

暑い夏がやってきました。
いつまでも続くかのように思える夏。
———だけ過ぎてみればあっという間だった夏。
「夏」という季節の中を思う存分駆け回ってみませんか。
とびっきりの夏から秋へ———。
季節を楽しむための本、揃っています。

夏をかけぬけろ!!



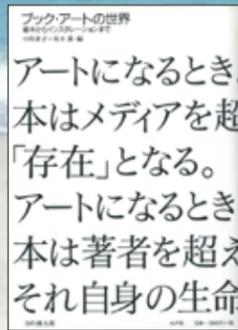
『月の地形ウォッチングガイド』白尾 元理／著 誠文堂新光社
月にはこんなにも表情豊かな地形があるということを改めて気づかせてくれる一冊。熱帯夜が終わりを告げる季節、涼しい夜風に吹かれながら月の観賞・観察をしてみませんか。
(山田 紀子)



『謹訳源氏物語1』紫式部／著 林 望／〔訳〕著 祥伝社
平安のプレイボーイが林氏の訳でふたたびお目見え！当時の和装本を思わせるコデックス装と、読みやすい現代語訳が魅力的な一冊です。秋の長夜に、ぜひ雅な源氏ワールドに浸ってください。
(大塚 望美)



『虫／夕暮のポエジー』松浦 一郎／監修・解説・録音 ビクター
秋の夜長、月見のお供といえば、ススキに団子に虫の声。虫の声なんて住宅街で聴こえてこない！という方、ご安心ください。虫の声、ご用意しております。
(峠 夏美)



『月の下 Under the Moon』森 光伸／写真
光村推古書院
月を詠んだ歌、月の詩、月の物語。数々の月を題材にした文学と、美しい月の写真が織りなす、神秘的な写真集です。
(西 和美)

『ブック・アートの世界：絵本からインスタレーションまで』中川 素子／編 坂本 満／編 森田 一／執筆 山田志麻子／執筆 田中 友子／執筆 水声社
読めない本、穴の開いた本など、本でありアートでもある本。本には、まだまだ多くの可能性があることを教えてください。読書の秋、そして芸術の秋はいかがですか。
(竹野 温子)

【2010国民読書年】
昨年6月、2010年を「国民読書年」とすることが国会で決議されました。この決議では、読書の街づくりの広がりやさまざまな読書に関する市民活動の活性化など、読書への国民の意識を高めるため国をあげてあらゆる努力を重ねることが宣言されています。

イベントガイド（7月～9月）

●読者のつどい

テーマの本の感想を話し合い、人生観や文学論などを自由に語り合う会です。

会場：互尊文庫1階 児童室

時間：19:00～20:30

7/23(金)『蔭の棲みか』

玄月／著

8/27(金)『海峡の光』

辻 仁成／著

9/17(金) 未定

●映画会

会場：中央図書館2階 講堂

時間：14:00～

7/14(水)「ふたりのベロニカ」

7/25(日)「トントンギコギコ
工の時間」

8/11(水)「ヒロシマナガサキ」

8/29(日)「僕の彼女を紹介しま
す」

9/15(水)「公害とたたかう／新
潟水俣病」

9/26(日)「麦の穂をゆらす風」

●子どもの本を読む会

作者や作品についての感想、テーマの本についての思いを語り合う会です。

会場：中央図書館2階 講座室1

時間：10:00～11:30

7/14(水)

『ゆうかなな女の子ラモーナ』

ベバリイ・クリアリー／著

9/8(水)

『長い長いお医者さんの話』

カレル・チャペック／著

※8月はお休みです。

●図書館ボランティア募集中

夏休み期間中、カウンター業務や本の整理などを体験できる、図書館ボランティアを募集しています。

申込：7月14日(水)までに、活動を希望する図書館まで申込書をお持ちください。

※いずれも参加は無料です。

図書館ニュース

◆新聞データベース導入で

調べ物が便利に！

中央図書館では、朝日新聞の記事検索に便利な「聞蔵Ⅱビジュアル」と、判例や法規の検索に便利な「法情報総合データベース」を導入しました。調べ物にご活用ください。

◆まちなか絵本館近日オープン!

8月1日(日)、子育ての駅ちびっこ広場まちなか絵本館がオープンします。

絵本や育児書をご利用いただけるほか、絵本選びのアドバイスなども行います。

あとがき

夏といえば、ビールに枝豆がよく合う季節ですが、そこにジャズ(音楽)が加わると、もっと深い味わいがあると思います。

この夏、図書館のCDでムーディーな時間を過ごされてはどうでしょうか。(渡辺 茂)

名 称	住 所	電 話 (FAX)	開館時間	休 館 日
中央図書館	学校町1-2-2	32-0658(32-0664)	9:30～19:00	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 毎月の月末
互尊文庫	坂之上町3-1-20	35-7981(35-7982)	9:30～20:00 ※互尊文庫 学習室は 19:00まで	毎週木曜日(祝日の場合は翌日) 毎月の月末
西地域図書館	緑町3-55-41	27-4900(27-4901)		
南地域図書館	曲新町566-7	30-3501(30-3505)		
北地域図書館	新保町1399-3	22-7100(22-7105)		
中之島地域図書館	中之島3807-3 中之島文化センター内	61-2165(66-1003)	9:30～19:00	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 毎月の月末
寺泊地域図書館	寺泊磯町7411-14 寺泊文化センター内	75-5159(75-3109)		
寺泊地域図書館 大津津地区図書室	寺泊敦ケ曾根551 寺泊センターおおこうづ内	0256-97-2497 (0256-98-2205)		
栃尾地域図書館	中央公園1-36 栃尾文化センター内	53-3005(86-5868)		
文書資料室	坂之上町3-1-20 互尊文庫2階	36-7832(37-3754)	9:30～17:30	毎週木曜日(祝日の場合は翌日) 毎月の月末
栃尾美術館	上の原町1-13	53-6300(53-6370)	9:00～17:00 発券は16:30まで	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 展示替等のため臨時休館する場合があります。

平成22年7月1日発行 編集・発行：長岡市立中央図書館

メールアドレス：lib@city.nagaoka.niigata.jp ホームページ：http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

編集員：渡辺 茂 渡辺 雄亮 山田 紀子 金安 麻子 岩本 純子 印刷：北越印刷(株)